

2019年度 修士論文題目一覧(博士前期課程)

| 領域 | 題目 |
|-------------------|--|
| 看護 | 臨地実習において看護学生の自己評価に対して個別に支援を要するときの看護教員の関わり |
| | 集中治療室において積極的治療から終末期医療への移行に関わる看護師の困難感と対処の実際 |
| | 治療が困難な状況にある小児がんの子ども在宅療養に向けた親の意思決定プロセス |
| | 集中治療室で夜勤・交代制勤務を行う看護職の月経への向き合い方 |
| | 小児クリニックを受診する子どもへの看護師の関わり方の特性 ～幼児期の子ども採血場面を通して～ |
| | 看護学生が基礎看護学実習において「相手の立場に立って考えた」体験の分析 |
| 栄養 | 就寝前夕食・朝食欠食の食習慣と糖尿病罹患との関連 ～特定健康診査受診者を対象とした6年間後方視的コホート研究～ |
| | 肝疾患を有する小児の安静時エネルギー消費量の検討 |
| | 通所系サービス事業所利用高齢者における低栄養とADL・IADL及び要介護度の関連 |
| | 訪問診療を利用している在宅療養高齢者の摂食困難(Eating difficulty of elderly people)に関する研究 |
| | 認知症対応型共同生活介護入居者における低栄養と食事状況及び管理栄養士による関わりとの関係 |
| | 痩身願望がある20代女性の鉄・カルシウム摂取量の現状と摂取方法の検討 |
| 社会福祉 | ベトナム国医療施設における入院患者の栄養状態に関する研 ～栄養不良の二重負荷を背景として～ |
| | ベトナム社会主義共和国における食品衛生の現状に関する一考察 ～日越の比較から～ |
| | バイステックの自己決定論についての考察 ～「価値」と「相互作用」を中心として～ |
| | 放課後児童支援員は障害のある児童と周囲児童に対しどう考え支援しているか ～横浜市小学校放課後キッズクラブにおける障害児理解の考察～ |
| | 乳幼児と養育者を支援するシステムの研究 ～新たな家庭支援システムの創生に向けて～ |
| | 補足運動野に対する経頭蓋磁気刺激が予測的姿勢制御に与える影響 ～補足運動野の時間的特性について～ |
| リハビリテーション (PT) | 体幹肢位の違いが下腿筋の中樞神経系の制御動態に及ぼす影響 |
| | 末梢感覚入力の多様性による中樞神経系の興奮性動態の検討 ～上位・下位中樞神経系における電気生理学的検討 |
| | 脳卒中片麻痺者における長下肢装具を使用した介助歩行時の運動負荷について ～患者と介助者双方の運動負荷の関係性～ |
| | 運動機能が高いにも関わらず活動が狭小化している要支援・要介護高齢者の活動に影響する因子の検討 |
| | 通所介護施設における居宅訪問の実態と機能訓練への影響について |
| リハビリテーション (OT) | 通信制高等学校に通う生徒の不登校経験とその支援に関する研究 |
| | 急性期脳卒中患者に対し作業療法士が作業を使用する目的 ～作業療法士の語りから～ |

2019年度 博士論文題目一覧(博士後期課程)

| 領域 | 題目 |
|----|---|
| - | 動作能力向上に寄与する下位運動中枢制御機構の変容に基づいた運動指導方略の構築 |
| - | 書字や描画に困難さがある小学生の運筆における協調運動の定量的解析 |
| - | 血清Aspartate aminotransferase 濃度高値の骨格筋障害のスクリーニングとしての意義 ～神奈川県大規模保健医療データを用いた検討～ |
| - | 医療・介護関連肺炎リスク患者の看取りを支援する在宅ケアモデルの開発 ～最期まで口から食べることに取り組んだ事例を通して～ |
| - | 歩行練習機器の開発に向けたリハビリテーション学的研究 |